

がんばってます!! さかもとじん ～坂本人～

市内最高齢は中切にお住まいの勝さん なんと 106歳! これからもお達者で!

9月21日の敬老の日に合わせて、中津川市では多年にわたり社会につくされた老人を敬愛し、長寿をお祝いするために市長と市職員が年齢上位5名と百歳、99歳の白寿、88歳の米寿を迎えられた方の自宅を訪問しお祝い品と花束を贈呈いたしました。

百歳を迎えられた方は坂本地区は1名、白寿を迎えられた方は8名、米寿を迎えられた方は45名です。また、社会福祉協議会坂本支部では、77歳の喜寿を迎えられた118名（昭和7年4月1日から昭和8年3月31日に生まれた方）のみなさんにお祝い品を贈呈させていただきました。これからも健康には十分ご留意され、いつまでもお元気にお暮らしてください。



写真は中津川市の最高齢者で今年9月に106歳を迎えられた中切地区の勝やす子さんを見学した時のスナップです。

勝さんに教えていただいた長生きの秘訣は、「みんなに感謝して好き嫌いをなくおいしく食べること」だそうです。分かりましたか? 感謝の心と何でもおいしく食べることが長寿の秘訣なんですね。106歳ということは明治36年生まれです。今、私の使っている手帳の年齢早見表には明治37年からしか出ていません。驚きました。勝さんと同じ年の明治36年生まれの有名人はサトウハチロー、山本周五郎、棟方志功、嵐寛寿郎、小津安二郎、林芙美子などそうそうたるメンバーです。明治36年（1903年）は日露戦争の前年でライト兄弟が人類初の動力飛行に成功した年です。まさに、明治、大正、昭和、平成と四つの時代を生きてこられた勝さん、ますますのご健康とご長寿をお祈りいたします。

継続は力なり! 道を極めて「ねんりんピック」に出場しました!



「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は60歳以上の方々を中心とするスポーツ、文化、福祉の総合的な祭典です。今年は第22回目を迎え「ねんりんピック北海道・札幌2009」として～ねんりんに 夢を大志を 青春を～をテーマに9月5日～8日の4日間にわたり北海道で開催された大会に篠原紘一さん（下洗井）と田中力さん（辻原）のお二人が出場されました。

篠原紘一さんは札幌市北海道立真駒内競技場で剣道団体戦に出場し、予戦リーグを1位で通過し決勝トーナメントでは1回戦で地元北海道チームと当たり2対1で敗れましたが、表彰式では岐阜県チームに優秀チーム賞が授与されました。

田中力さんは苫小牧市総合体育館で卓球団体戦に出場し、1次リーグ戦で2位となっ

て2位リーグ戦に進みましたが、おしくも静岡県に2対1で敗れ決勝トーナメントに進むことができませんでした。お二人とも今回の大会では剣道や卓球を通じて他県のチームと練習したり、全国の仲間と楽しく交流を深めることができたこと。また地元北海道の方たちからあたたかく迎えられるたくさんの良い思い出をつくることのできたと感激されていました。これも、篠原さんは剣道に、田中さんは卓球に選手であると同時に指導者として長年精進されてきた賜物であると思います。

篠原さんとお話した地元ボランティアの女性は、なんと!! 中津川市坂本出身とお聞きし縁の深さにビックリしたそうです。来年のねんりんピックは石川県です。坂本人の活躍を期待します。



スマッシュを打つ田中さん

広報

さかもと

坂本の人口 12,854人(男:6,344人 女:6,510人) 世帯数4,334 【平成20年 8月末現在】
12,855人(男:6,339人 女:6,516人) 世帯数4,330 【平成21年 7月末現在】

Public information Sakamoto

平成21年10月1日
編集発行 坂本コミュニティセンター
中津川市千旦林1197-10
Tel 68-2001 Fax 68-4851

第32回中津川市総合防災訓練が行われました。



消防坂本分団全員集合!

井上分団長訓示

8月30日(日)地域の防災力の強化と防災意識の高揚を図るため、自主防災会、消防団を中心とした中津川市総合防災訓練が行われました(一部地域除く)。

当日は、残暑が厳しい中ではありましたが坂本地区では22会場で約2,100人(市全体では約18,000人)が参加しました。8時30分に「警戒宣言」が発令され、9時に阿寺断層地震及び東海地震の複合地震が発生したとの想定で、各自主防災会ごとに避難前点検訓練、避難所開設訓練を行った後、初期消火訓練、応急手当訓練、炊き出し訓練、図上訓練など地域の実情に合わせた訓練が行なわれ参加者は「自分達の地域は自分達で守る」の意識で積極的に訓練に参加していました。23日に開催された自主防災リーダー研修受講者のみなさんも応急手当やAED心肺蘇生法などの講師として活躍されていました。特に今年は子どもさんの参加も目に付き、家族ぐるみで参加されている様子うかがえました。こうした機会を通じて地域のみなさんの結びつきが強まり災害に強いまちづくりができると感じました。

又、今回の訓練には「がんばる地域サポート事業」で坂本地区民生委員児童委員協議会の民生委員さんが作成した災害時要援護者台帳と災害福祉マップを活用して要援護者の安否確認等を図上で把握する訓練を実施した地域もありました。参加者のみなさん、お疲れ様でした。



要援護者の安否確認をいかに行うか!



避難訓練会場



竹竿と毛布で応急担架搬送訓練



防災リーダー研修の成果が出ています!



土嚢はあまじり砂を入れなくて!



初期消火訓練(バケツリレー)